

しすい

編集・発行/酒々井町議会 〒285-8510 千葉県印旛郡酒々井町中央台4-11 ☎043-496-1171
<http://www.town.shisui.chiba.jp/contents/gikai/>



6月定例会のあらまし

▲千葉県町村議会議員研修会に参加

詳細については10ページ

6月定例会は6月4日から10日間の会期で開催されました。

町長より議案4件、議員より発議案3件が提出され、審議した結果議案4件、発議案2件がそれぞれ原案のとおり可決されました

一般質問は9名の議員が、2日間にわたり行いました。



平成25年度各会計補正予算などを可決・・・P2

酒々井町総合交通政策会議の設置についてなど 行政報告・・・P4

6月定例会

町政を問う 議員9名が一般質問・・・P5~P10

一般会計補正予算など4議案可決



小中学校に太陽光発電設備を設置します（写真は酒々井中学校）

平成25年6月議会で可決された議案は次のとおりです。

◇工事請負契約の締結について

尾上浄水場電気設備更新工事について、制限付き一般競争入札を実施した結果、福井電機株式会社花落札し、同社と仮契約を締結したので、議会の議決を求めるものです。

◇工事請負契約の締結について

小中学校太陽光発電設備設置工事について、制限付き一般競争入札を実施した結果、入札が不調となり、東邦建設株式会社と随意契約の仮契約を締結したので、議会の議決を求めるものです。

一般会計

◇一般会計補正予算（第1号）

補正の主な内容は、風しんのワクチン接種者に対する助成、馬橋地先の道路改良事業、歴史的文書の電子化経費、大室台小学校グラウンドの修繕工事等です。

水道事業会計

◇水道事業会計補正予算（第1号）

中央台2丁目における給水管更新舗装工事と、会計制度の

改正にあたり、必要な作業のための補正です。

人権擁護委員に

林 洋子氏

法務大臣から委嘱されている山崎猛由委員が、9月30日をもって任期満了となることから、千葉地方法務局長より後任の推薦依頼がありました。

人権問題に深い理解がある林洋子氏を推薦するにあたり議会の意見を求められ、審議の結果、適任と決定されました。

報告

○一般会計予算繰越明許費繰越計算書について

「南酒々井橋他1橋の橋梁耐震対策事業」、「酒々井ICアクセス道路整備事業」、「各種道路・公園整備事業」、「各小中学校における太陽光発電設備設置事業」、「中央公民館耐震補強事業」等の14事業について、翌年度に繰り越す額が確定したので報告するものです。

○一般会計予算事故繰越し繰越計算書について

「岩橋保育園園庭整備事業」について、天候不順により年度

内完了が困難になり、翌年度への事故繰越しの処理をしたので報告するものです。

議員発議によるもの

◇義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書の提出について

◇国における平成26（2014）年度教育予算拡充に関する意見書の提出について

平成25年度 補正予算額

（単位：千円）

会計名	補正前	6月補正額	補正後
一般会計	5,452,205	64,342	5,516,547

平成25年度 水道事業会計補正予算額

（単位：千円）

会計名	補正前	6月補正額	補正後
収益的支出	452,159	7,938	460,097

議案と議決結果（町長提出のもの）

番号	件名	付託委員会	本会議の議決結果	
1	平成25年度酒々井町一般会計補正予算（第1号）	※	原案可決	◎
2	平成25年度酒々井町水道事業会計補正予算（第1号）	経済建設	原案可決	◎
3	工事請負契約の締結について	経済建設	原案可決	◎
4	工事請負契約の締結について	教育民生	原案可決	○

◎は全員賛成、○は賛成多数、×は賛成少数です。（※）は総務・教育民生・経済建設の各常任委員会に担当分野を付託しています。

発議案と議決結果（議員提出のもの）

番号	件名	提出者名	本会議の議決結果	
1	橋下大阪市長に対し、人間の尊厳を冒瀆する発言の撤回を求める決議について	地福 美枝子議員 他3名	原案可決	×
2	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書の提出について	教育民生常任委員会 委員長 内海 和雄	原案可決	◎
3	国における平成26（2014）年度教育予算拡充に関する意見書の提出について	教育民生常任委員会 委員長 内海 和雄	原案可決	◎

◎は全員賛成、○は賛成多数、×は賛成少数です。

請願の審査結果

請願番号	件名	請願者名	付託委員会	本会議の議決結果	
請願第2号	「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願書	子どもたちの豊かな育ちと学びを支援する教育関係団体千葉県連絡会 会長 小比類巻 勲	教育民生	採択	◎
請願第3号	「国における平成26（2014）年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願書	子どもたちの豊かな育ちと学びを支援する教育関係団体千葉県連絡会 会長 小比類巻 勲	教育民生	採択	◎
請願第4号	馬橋ネオポリス団地の下水道受益者負担金減免に関する請願書	ネオポリス自治会 会長 河合一夫	経済建設	採択	◎
請願第5号	TPP交渉参加に関する意見書の提出を求める請願	食糧と健康を守る千葉県連絡会議 議長 長平 弘 農民運動千葉県連合会 会長 大木傳一郎	経済建設	不採択	×

◎は全員賛成、○は賛成多数、×は賛成少数です。

議案・賛成討論(要旨)

越川廣司議員
(議案第4号)

本契約は、地方自治法施行令第167条の規定に基づいた契約であり賛成する。

議案・反対討論(要旨)

齊藤博議員
(議案第4号)

今回の入札の事情等を聞いたが、結果的に入札を取りやめなかったことは、再度入札をしなかったことは、再入札の透明性を無視した措置である。また、その判断根拠となった工期について指名審査会、本会議、委員会において具体的な説明がなかった。

今回の契約のような一社と随意契約を結ぶということは、悪い前例になると思う。業者とのあらぬ疑いをかけられないよう慎重を要する。

竹尾忠雄議員
(議案第4号)

今回の工事契約について、入札実施要綱第25条で、入札参加者が1社であった場合には、特別な事情がない限り入札を取り



やめるものとするところあり、取りやめるべきだったと思う。急いでいるならばこそ、3校一括発注でなく、それぞれの学校ごとに発注すべきではなかったのか。そうすれば、入札参加者も今回のように1社ということにならなかったのではないかと。今回の太陽光発電設備設置工事は、原発に頼らず資源エネルギーを活用し、子どもたちに節電の意識を持ってもらう大事な事業で評価するが、以上の理由で反対する。

町長より5件の行政報告がありました。(要旨)

酒々井町総合交通政策会議の設置について

酒々井町総合交通政策会議では、酒々井インターチェンジの開通及び酒々井南部地区新産業団地における大型商業施設の開業に伴い、町内の交通量が増加している状況のなか、子どもたちや高齢者などが安全に通行できる交通環境の改善に向け、対策案などを検討し、順次取りまとめていく予定です。

組織については、副町長を委員長とし、印旛土木事務所、佐倉警察署の担当課長、佐倉交通安全協会酒々井支部の代表、庁内関係課長を含めた委員構成により検討を行ってまいります。

今後、会議の中で、随時、地元自治会や関係者の皆様のご意見等を伺うなどしながら、町の円滑な交通及び町民が安全に通行できる交通環境の改善に向け、当会議を有効に活用してまいります。

酒々井町地域福祉計画の策定について

当町では「みんなで創ろう」助け合い・支え合う福祉の町

酒々井」を合言葉に平成25年度から5ヶ年を計画期間とした「酒々井町地域福祉計画」を策定しました。

本計画は、行政と地域住民、社会福祉に関わる全ての関係者が協働して、酒々井町の地域福祉を総合的・計画的に推進するために定めたもので、社会福祉協議会が住民と一緒に具体的に取り組む「酒々井町地域福祉活動計画」と一体的に策定しました。

本計画を推進していくためには、町民、事業者、関係機関、団体、町、社会福祉協議会の「協働」による取り組みが不可欠であることから、緊密なネットワークを構築して推進してまいります。

災害発生時における福祉避難所の設置運営に関する協定の締結について

災害発生時における災害時要援護者の支援については、酒々井町地域防災計画を上位計画として、酒々井町災害時要援護者支援計画を策定し、避難支援体制の整備に努めています。

町では、平成25年5月30日、特別養護老人ホームエクトピア

酒々井を設置・運営する社会福祉法人鼎と、災害発生時における福祉避難所の設置運営に関する協定を締結しました。

協定の内容は、管理運営、費用等の負担、情報伝達体制の整備、物資調達及び介護者の確保、個人情報保護など13条から成っており、一層の地域の安心安全体制の強化に資するものと考えています。

風しん予防接種費用の一部助成について

風しんの流行状況を踏まえ、妊婦への感染の拡大を防止するための緊急対策として、予防接種費用の一部を助成することとしました。

対象者は18歳以上50歳未満の方のうち、妊娠を予定または希望する女性とその夫（未婚の場合も含む）、妊婦の夫です。助成額は接種金額の概ね半額で、麻しん風しん(MR)混合ワクチンは5,000円、風しん単抗原ワクチンは3,000円をそれぞれ一人1回までです。助成期間は5月1日から平成26年3月31日までです。ただし、4月1日に遡って既に接種済みの方も対象としました。

酒々井南部地区のまちづくりについて

3月27日に酒々井南部地区新産業団地まちびらき式を開催し、引き続き地区内の飯積東公園で植樹式を行いました。

4月10日には酒々井インターチェンジが開通し、その通行量は4月19日の「酒々井プレミアム・アウトレット」開業から5月6日のゴールデンウィーク終了までの間に19万8千台、1日あたりに換算しますと約1万1千台の通行があったとネクスコ東日本から聞いております。

国道が想定を超える渋滞が発生したものの、事業者による誘導看板や誘導員の配置により、乗客車の生活道路への流入による影響は少なかったと思われます。現在、日曜祝日に渋滞が多少発生しているものの、来場車と退場車の分散等により、開業当初のような交通渋滞は発生していない状況です。今後もアウトレットの交通対策には、関係機関と連携・調整を図り万全を期して対応してまいります。

「酒々井プレミアム・アウトレット」は121店舗が出店し、開業時としては最大の店舗数で、全国で9番目、関東エリアでは4店目の出店としてランドオープンしました。来場者はオーブンからの3日間で13万5千人、ゴールデンウィーク終了の5月6日までの18日間で約87万人が訪れ、その内京成・JR酒々井駅利用者5万8千342人であったと聞いています。

「酒々井コミュニケーションセンター」の活用や町ホームページにより情報発信に努め、町の活性化につなげていきたいと考えています。

町の考え

そこが知りたい



一般質問は、町の行財政全般にわたって、執行機関に疑問点をただし見解を求めるものです。

6月定例会の一般質問は、12日と13日の2日間に9名の議員が防災対策や教育関連など、行政全般にわたり今後の対応策などについて、活発な質問を行いました。

「議会だより しすい」に掲載されている内容は紙面の都合上、要点のみとなっています。詳細については、町立図書館（プリミエール酒々井内）で会議録をご覧ください。また、インターネットでもご覧いただけます。

6月定例会の会議録は、9月上旬以降、閲覧することができます。

問

30歳からのマンモグラフィ検査の実施を

答

効果的な検診ができるように努めていく

平澤 昭敏 議員

問 乳がん検診のうち、マンモグラフィの対象者は40歳以上であるが、30歳から実施してほしいとの要望も上がっている。30歳代は視触診とエコー検査のみであるが、新聞報道によると視触診では見落としの実情があるという。是非、30歳からの視触診、エコー検査に併せて、マンモグラフィでの検査も実施できるようにしてほしいと考えるが、町の見解を伺う。

町長 マンモグラフィは「高濃度乳腺」といわれる乳腺濃度が高い30歳代では検診精度が低くなることから、千葉県では導入していないのが現状である。「がんに負けない社会をつくる」うえで、検診手法の確立が急がれているところであるが、今後も検診制度の向上など、情報収集に努め、一刻も早く効果的な検診ができるように努めていきたい。

酒々井プレミアム・アウトレットの現状について

問 アウトレットがオープンして1ヶ月経過したが、次の点を伺う。

① 交通渋滞の状況

② アウトレット周辺の開発状況

③ 工業団地の状況

④ 酒々井コミュニケーションセンターの反響

副町長 ① 開業当初は、アウトレット周辺の道路等で渋滞が発生していたが、駐車場への入退出の誘導方法の改善等もあり、今では日曜祝日に多少渋滞がみられる程度となっている。

② 三菱地所・サイモン(株)がUR都市再生機構所有地約22ヘクタールの借地権を落札し、早期の拡張を目指すとしている。一般地権者の所有地については、企業と地権者が交渉している段階にある。

町長 ③ 墨工業団地に2年前に進出した食品製氷加工の(株)エフケイが工場拡張を計画していると聞いている。遊休地の所有企業に、早期の土地活用を図ってもらうため、県に協力を願うトップセールスを行う予定である。

④ 酒々井コミュニケーションセンターには、開業から5月末までに2万5,466人が訪れ、来場者から町の特産品等の問い合わせが数多くあった。

問 町主催の防災訓練の予定があるのか

答 訓練内容等の検討を行っている

金塚 学 議員

問 平成23年・24年の2年をかけた町の地域防災計画が見直されたが、地域住民と避難施設の管理者との連携が重要であることから「避難所運営マニュアル」の策定はされているのか伺う。また、町主催で、避難・防災訓練等の予定はあるのか伺う。

担当参事 地域防災計画を策定し、これから、いろいろな形で運用していく状況にあるので、そうした認識の下に検討していきたい。また、防災訓練については、実施予定ということ、訓練内容等の検討を行っている。

教育環境の整備について

問 町立の各学校の入学式や卒業式での国歌斉唱の際に起立をされず座ったままの来賓がおられるが、各学校を指導する立場にある教育委員会として、そのような方々を来賓としてお招きすることに賛成されるのか、教育長としての考えを伺う。

教育長 各学校では、学習指導要領の趣旨に基づき、入学式や卒業式において、保護者や地域の方々にもご理解いただきながら、国旗を掲揚し、国歌を

斉唱している。入学式や卒業式は、人生における節目を祝う、一生に一度の思い出に残る儀式であり、祝福の思いを込めてご起立、国歌の斉唱をしていただき、その進行に協力し、もり立てていただきたい。

ふるさとの歴史教育について

問 未来の子どもたちへ酒々井町の歴史遺産や伝統文化を地域の歴史として残すためにも、大室台小や酒々井小という学区で考えるのではなく「酒々井子」として町が一つになって対応することが望ましいと考えるが、町教育委員会として対策はされているのか伺う。

学校教育課長 町内小学校では、3、4年生社会科学学習等において、副読本「わたしたちの酒々井町」を活用する中で、地域の伝統や文化遺産の見学体験等により、郷土についての理解を深めている。町教育委員会では、教務主任研修会等において、地域教材の開発や学習活動の工夫を図り、郷土の伝統文化や歴史遺産について、再認識できるように教育課程を指導していく。

問 小中3校の太陽光発電設備設置工事請負契約締結に疑問点が

答 3校同内容の工事なので一括発注した

那須 光男 議員

問 議会初日の全員協議会に「太陽光発電設備設置工事請負契約の締結について」の議決を求める議案第4号が追加提出された。質疑では私と他の議員の方々からも多数の疑問が寄せられた。その主な点は次のとおりである。

- ① 3校一括入札にした根拠は。
- ② 3校一括入札したために、結果として1社のみの入札となった。3校別々の入札であれば、もっと多くの入札があったのではないか。
- ③ 工期が来年3月20日までという長期間になっているが、一刻も早く稼働しようとの姿勢が全く見られない。3校別々に入札すれば工期も大幅に短縮できるのではないか。
- ④ 3月25日に成立した補正予算では、3校合わせての工事費が2億2千万円であった。しかし落札予定価格は1億3千6百万円であった。たった3カ月前に作った予算より予定価格が大幅に低い理由は何か。

これまでのことも課長の答弁は、目まぐるしく変わっているので、明快に答弁するよう改めて強く求める。

ことも課長 ①② 3校とも同じ内容の工事なので一括発注とした。

- ③ 工期は町で決定した。
- ④ 補正予算を出す段階では設計金額が確定していなかったため、見込みで補正予算を提出した。

中川の浚渫について

問 昨年の9月定例会で中川の浚渫費の一部が計上され、上流部の工事が12月に終了したと聞いている。しかし、残された下流部や「くすりの福太郎」周辺の浚渫費が平成25年度予算に計上されていない。残された工事をいつ実施するのか伺う。

上下水道課長 昨年度に浚渫ではなく土砂等の堆積となった原因の一つと思われる、コンクリート塊や堆積箇所が生えた樹木及び堆積が著しい箇所の一部土砂等撤去を実施した。今年度はこの一部土砂撤去箇所の隣接水田の経過観察を行っていることから、予算は計上していないが、経過観察の結果で判断していききたい。なお、住宅地付近については、景観の観点から除草作業等を検討していききたい。

問 町長の資産等報告書には証拠書類の添付が必要なのはなぜか

答 町長の責任で報告する

齊藤 博 議員

問 ① 町長の資産等報告書には、富里市など酒々井町以外に有する土地建物は記載しなくても良いのか。また、退職所得や譲渡所得はどうか。本人名義の資産だけを報告すればよいのか。

② 報告書には証拠書類を添付する必要があるが、そのような取扱いなのか。
③ 報告書のコピーは禁止だが、一般の文書公開ではコピーは禁止されていない。コピー禁止の理由は何か。

担当参事 ①② 規則では外国にある資産も含むとなっている。また、譲渡所得は含むが、退職所得は含まないとなっている。報告書は町長の責任で報告するので、証拠書類添付の規定等はない。

③ 個人の資産を公開するものであり、コピーしたものが流布されるものはどうかという考えもあるので、閲覧をされた方には必要箇所だけを記載してもらっている。

産業廃棄物中間処理施設について

問 上岩橋地先にある産廃処理施設の隣に「リサイクル先進センター」が操業している。その敷地には、施設で作っ

問 ふじき野T字路の横断歩道白線枠の早期復旧を

答 佐倉警察署に要望していく

佐藤 修一 議員

問 町内主要道路や幹線道路の横断歩道白線枠や道路センターラインの白線が消滅または消滅しかかっている箇所が多く見られる。横断歩道の白線枠は歩行者や通学する児童にとって大事な安全帯であると同時に車を運転する側にとってもスピードの調整や走行停止位置を判断する安全枠でもある。横断歩道の白線は公安委員会、警察の所管であり町の所管ではないが、利用するのは町民であるので、行政間の連携を密にして早期の対応を願いたい。町内全域の白線枠の早期復活は困難と思われるが、交通量が多く、子ども達の通学が頻繁な横断歩道は特に急がれる。

中でもふじき野T字路は交通量も多く、児童の通行も多いため、早急に対応すべきと考えるが、町の考えを伺う。

担当参事 ふじき野T字路の横断歩道の白線について佐倉警察署に確認したところ「現地確認し、対応を検討する」との回答であったので、さらに早急な対応についての要望を行っていく。また、町内で横断歩道等の白線が消滅している箇所の調査を実施したので、そ

れらの箇所についても取りまとめの上精査し、佐倉警察署と協議していく。



ふじき野T字路

まちづくり課長 町道のセンターライン等の道路区画線について、町内の主要幹線道路を調査したところ、交通量の多い箇所は、センターライン等の区画線が消えている路線が多数あるので、今後、通学路を優先するなど、白線の引き直しを行っていききたい。

町内の道路関連及び道路網について

問 国道296号東酒々井入口交差点の右折レーン設置については、今年度中の完成が予定されているが、現在の進捗状況を伺う。

まちづくり課長 県が改良工事を行っており、一部歩道の工事に着手している。用地は契約済みであり、物件移転が完了後、残る工事に着手し、今年度中の完成を目指していると聞いている。

問 福祉避難所の指定はどうか

答 エコトピア酒々井を運営する社会福祉法人鼎と協定を締結した

江澤 眞一 議員

問 災害時要援護者支援計画について、次の点を伺う。

- ① 対象とする要援護者はどの位いるのか。
- ・ 75歳以上の高齢者のみの世帯
- ・ 75歳以上の一人暮らしの人数
- ・ 要介護認定者数

② 災害時要援護者の登録者は、現在何人いるのか。また、登録制度に登録して頂くために、どのような事をしていくのか伺う。

③ 災害時の要援護者に対して福祉避難所を指定するところがあるが、どの施設になるのか。さらに、備品等の状況についても伺う。

担当参事 ① 4月30日現在、75歳以上の高齢者のみの世帯数は468世帯、75歳以上の一人暮らし高齢者の人数は548世帯、要介護認定者は608人となっている。

② 平成24年度の登録者は、256世帯で、今年度も引き続き、自治会の協力を得ながら回覧により登録者を募集し、民生委員児童委員の戸別訪問により既登録者の情報更新と合わせて登録

を推進していく。

町長 ③ 特別養護老人ホームを運営する社会福祉法人鼎と災害発生時における福祉避難所の設置運営に関する協定を締結した。当法人では、平成24年度に新館施設建設を行い、その際、地域交流スペースを整備するとともに、不時の災害発生時に対応するための発電設備、井戸水の給水設備が備えられている。

酒々井小学校のプールについて

問 昨年6月議会において、プールの老朽化を質問した時の答弁では、建設場所を含め建て替えを検討するとのことであったが、今年度の予定について伺う。

こども課長 酒々井小学校のプールは、建設から40年以上が経過し、老朽化していることから大規模な改修や建て替えが必要と考えており、第5次総合計画前期基本計画の中で「建設場所を含めた建て替えを検討します」と明記していることから、引き続き、建設場所の選定、財源の問題などについて、調査、検討していく。

問 町民意識の詳細分析で満足度を高めるまちづくりを

答 健康に対する意識と関心を高める機会づくりなどに取り組んでいる

川島 邦彦 議員

問 第5次酒々井町総合計画策定にあたり実施した町民アンケートで「医療機関、救急医療体制」は、特に期待は高いが満足度は低いとの調査結果であり、乖離が大きいことに問題認識をもつて対応する必要がある。

- ① 医療機関の満足度が低いことについて、町の受け止めと対策等を伺う。
- ② 救急医療はシステムの問題か、搬送時間の懸念か、町の分析と合わせ対策等を伺う。
- ③ 印旛地域メディカルコントロール体制は平成16年に設置され、搬送中の医師の指導あるいは救急隊員の実習などで救命効果の向上を図っている。救急病院がない酒々井町は、搬送中の処置に対する安心感が町民の満足度を高めると認識する。救急体制の実態が町民に浸透していないと判断するか、救急隊員のスキル不足を捉えているのか、分析と積極対応を求める立場で町の考えを伺う。

担当参事 ① 町民アンケートで満足度が低いとの結果であったが、これは、乳幼児から高齢者まで生涯を通じた健

康への関心が高まりを見せている中で、究極の安心・安全には「保健、医療が充実したまちづくり」が求められていると考えている。そこで、第5次総合計画では、健康づくりの推進と町民一人ひとりの健康に対する意識と関心を高めてもらうための一層の機会づくりなどを重点に掲げ取り組んでいる。

担当参事 ② 平成24年中の酒々井町におけるドクターヘリの要請は10件で、通報から診療までの搬送時間は平均31・2分と消防組合から聞いています。また、消防組合管内の救急活動全体の搬送時間平均は45・1分で、ドクターヘリ要請による収容所要時間の平均は37・0分であり、ドクターヘリの利活用と救急救命士による処置により、診療までの時間短縮に努めている。

町長 ③ 研修等の実施による救急救命士や救急隊員の再教育、また、実施した救急活動の事後検証等を通して、救急活動の質の向上を図り、更なる救急業務の高度化に取り組んでいる。メディカルコントロール体制が更に充実するよう消防組合に支援協力していく。

問 憲法96条改正について町長はどう考えているのか

答 現在のものよい

地福美枝子 議員

問 ① 現在、改憲手続きを定めた憲法96条を変える動きがある。この件について町長はどう考えているのか。

② 生活保護法が改悪された。これは一般国民の生活水準にも影響をもたらす、負の連鎖を生むものだと考えるが、町長はどのように考えているのか。また、町としてどのように対応するのか。

町長 ① 国会において十分議論していただきたいが、96条については、現在のもので良いと考えている。

子育て支援について

問 ① 町の保育園の定数、入所者数、建物の耐震化の状況を伺う。

② 定員の25%まで増員が許可される「弾力化」は今後も継続するのか。

③ 保育園は一人あたりの最小面積が決められている。その面積と実際の町の保育園の一人あたりの面積はどれ位か。それは法的に許される面積なのか。

町長 ①② 園児数は、中央保育園が

定員60人のところ48人、岩橋保育園が定員120人のところ138人、昭苑保育園が定員48人のところ54人となっている。待機児童対策として、「弾力化」を今後も継続したい。中央保育園では、耐震補強工事等を実施した。

こども課長

③ 面積基準は十分に満たしている。「弾力化」の上限は25%だったが、平成22年度からは改正により上限が撤廃されている。

町の介護状況について

問 介護保険制度も徐々に改悪されてきている。介護認定者数、特養の入所待機者数、利用限度額まで使わない人はどれ位いるのか伺う。

担当参事 認定者は587人いる。「エコトピア酒々井」の待機者は54名と聞いているが、「エコトピア酒々井」の

増床を含め、第5期計画では30人の待機者解消を見込んでいる、なお、「エコトピア酒々井」の増床後に入所した方は19人いる。利用限度額まで使わない人は、家族で面倒を見ることが困難な場合のみ利用するなど様々な事情があるので、把握できないのが現状である。

問 上郷地先の道路は狭くて危険、早期対応を

答 消防署前から51号までの歩道整備を優先する

竹尾 忠雄 議員

問 上岩橋の上郷地先(福美造園付近)

の狭く危険な道路は、昨年、一部改良工事を行った。しかし、歩道の真ん中に電柱が残っており、利用しづらい状況にある。電柱の移設についてどうなっているのか伺う。残りの箇所については、いつ改善されるのか。中学生の通学路でもあり、安全確保のため早急な対応を求めるが、町の見解を伺う。

まちづくり課長 電柱移設については、占有者であるNTTと協議を行っており、7月中を目途に移設が完了すると聞いている。通学路の安全対策として

は、質問と同じ路線で、現在、事業化している酒々井消防署前から国道51号までの歩道整備を優先していきたい。

公害問題になっている、上岩橋・天神原地区での事業について

問 平成23年3月から始まった産業廃棄物中間処理施設とグループ会社による土砂の堆積場からの異臭と粉じんについて、周辺住民から苦情や不安の声が出ていることから、次の点を伺う。

① 町は住民からの苦情に対してどのような対応を行ったのか。立ち入り検

査は何回実施したのか。

② 堆積された事業地内に町長が所有していた土地も含まれているそうだが、いつ、どのような理由で売られたのか。

③ 町が管理する赤道にも土砂が堆積しているが、事業者から申請があったのか。なければ事業者に対して現状回復を求めるべきである。

担当参事

① 平成23年8月頃から近隣住民や畑の耕作者から悪臭についての苦情を受けており、本年5月には粉じんに対する苦情があった。許可権者である千葉県に状況を報告し、県と町が連携して立ち入り検査を実施したほか、改善策を講じるよう指導した。立ち入り検査は、平成23年8月に1回、平成24年8月に1回、平成25年2月に2回実施した。

町長 ②③ 譲渡の土地は山林であった。赤道は町の管理となるので、現地を確認して適正な処置をしたい。

まちづくり課長 ③ 事業者から赤道の使用許可、払い下げ、立ち会いの申請はなかったため、許可等はしていない。

その他の質問

平澤 昭敏 議員

- ・ 広域防災協定、供給援助協力について

金塚 学 議員

- ・ 空き家対策について

- ・ 町の活性化推進について

- ・ 安心・安全に暮らすための対策について

那須 光男 議員

- ・ 新中川橋周辺の水田の用水路の清掃について

- ・ 職員の有給休暇の取得促進について

齊藤 博 議員

- ・ 職員の時間外勤務について

佐藤 修二 議員

- ・ 酒々井プレミアム・アウトレック関連について

竹尾 忠雄 議員

- ・ 役場庁舎耐震補強工事について

千葉県町村議会議員研修会に参加

8月2日（金）、オークラ千葉ホテルにおいて、千葉県町村議会議長会主催による、千葉県町村議会議員研修会が開催されました。

県内の多数の町村の議員が一同に集まり研修が行われ、慶應義塾大学教授小林良彰氏より『参院選にみる有権者意識と道州制の問題点』、明治大学教授牛山久仁彦氏より『地方議会の展望と課題』について講演がありました。



慶應義塾大学教授 小林良彰氏



研修会時の様子

宮崎県川南町議会が視察来町

7月17日（水）、宮崎県川南町議会議員6名が、当町の「保育園から中学校卒業までの一貫した英語教育」、「学校適応専門相談員の配置」に関する調査研究のため来町されました。

教育長及び町担当者から説明後、活発な意見交換が行われました。



宮崎県川南町議会が視察来町

9月定例会のお知らせ

次の定例会は9月上旬に開会する予定となっております。

会期の概要は、8月27日の議会運営委員会にて決まります。会期などについては、議会運営委員会の開催日以降、議会事務局までお問い合わせください。

なお、会期の概要が決定したら、町議会のホームページやポスターでもお知らせしていきますのでご覧ください。

皆様の傍聴をお待ちしています。

詳しくは議会事務局まで。

☎ 496・1171

(内線251、252)